

内閣官房副長官 尾崎正直 殿

薛劍中華人民共和国駐大阪総領事への
外交的対応に関する見解及び申入れ

令和7年11月12日



薛劍中華人民共和國駐大阪総領事への外交的対応に関する見解及び申入れ

令和 8 年 11 月 12 日

日 本 維 新 の 会

安 全 保 障 調 査 会

外交部会・安全保障部会

1. 事実関係

令和 7 年 11 月 8 日、中華人民共和国の薛劍駐大阪総領事は、自身の X において、衆議院予算委員会における高市早苗内閣総理大臣の台湾有事及び存立危機事態に関する国会答弁についての報道を引用し、「勝手に突っ込んできたその汚い首は一瞬の躊躇もなく斬ってやるしかない。覚悟が出来ているのか。」と述べた。

また、同総領事は、関連して、「日本の一部の頭の悪い政治屋が選ぼうとする死の道」「敗戦のような民族的潰滅を喰らうことが二度とないように」などと述べた。

2. 見解及び申入れ

同総領事の発信は、外交官として著しく品位に欠け、任国である我が国及び我が国政府の長に対する明白な侮辱及び脅迫である。同総領事は、今般の事案に限らず、これまでも我が国の内政干渉等にあたる振る舞いを繰り返してきた。

日本維新の会は、同総領事の振る舞いについて、中華人民共和国政府に対して厳重に抗議し、謝罪を求めると同時に、事態の改善を求める。

同氏の存在は、我が国及び日中関係に対して多大なる負の影響を及ぼすものである。

したがって、日本維新の会は、日本政府に対し、外交関係に関するウィーン条約等の国際法に基づき、同総領事へのペルソナ・ノン・グラータ（好ましくあらざる人物）の通告を含めた断固とした対応を求める。

以上